

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2009年1月1日から2009年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋秀晴 教授

| | |
|---------------------|---|
| I 著書・学術論文等 | <p>* 著書</p> <p>1) 『多喜二の視点から見た身体 地域 教育=2008年オックスフォード小林多喜二記念シンポジウム論文集=』(共著、小樽商科大学出版会、2009年2月20日)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 「出版報国男子の本懐/「新潮」創業の佐藤義亮」(『秋田魁新報』学芸欄連載、2008年1月11日～2009年3月28日、全63回)</p> <p>2) 「小牧近江と環「日本海」—新規寄託資料の可能性を遠望しつつ—」(『社会文学』第29号、pp.117～126、2009年2月17日)</p> <p>3) 「未発表書簡が語る小牧近江の新側面」(『秋田文学』第四次第十八号、pp.68～78、2009年9月9日)</p> <p>4) 「佐藤義亮の人生観」(『秋田風土文学』第十四号、pp.6～13、2009年11月30日)</p> |
| II 学会報告等 | <p>1) 「出版人佐藤義亮と近代作家」(日本近代文学会東北支部平成二十一年度夏季大会、2009年7月4日、於：岩手県立大学アイーナキャンパス)</p> <p>2) 基調発表「プロレタリア文学の過去と現在」(日本近代文学会東北支部平成二十一年度冬季大会シンポジウム、2009年12月12日、於：仙台市戦災復興記念館)</p> <p>3) パネルディスカッション「プロレタリア文学・労働・現在」(日本近代文学会東北支部平成二十一年度冬季大会シンポジウム、2009年12月12日、於：仙台市戦災復興記念館)</p> |
| III 社会活動・受賞等 | <p>* 社会活動</p> <p>1) 日本近代文学会東北支部運営委員 (1995年5月～)</p> <p>2) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員 (2005年4月～)</p> <p>3) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問 (2006年7月～)</p> <p>4) 秋田県教職員健康審査会第1部会委員 (2006年10月～)</p> <p>5) あきた文学資料館収集検討委員 (2007年4月～)</p> <p>6) 秋田県立博物館協議会委員 (2007年7月～)</p> <p>7) 日本社会文学会評議員 (2007年7月～)</p> <p>8) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員 (2007年11月～)</p> <p>9) 秋田県高等学校キャリア教育調査研究委員会運営指導委員 (2007年12月～)</p> <p>10) 『あきたの文芸』選考委員 (2008年4月～)</p> <p>11) 秋田県青少年環境浄化審議会会長職務代理 (2008年4月～)</p> <p>12) 株式会社秋田放送番組審議会副委員長 (2008年7月～)</p> <p>13) 『秋田—ふるさとの文学』編集委員 (2008年11月～)</p> <p>14) 秋田県広報紙等一括委託業務提案競技審査会委員 (2009年1月～2月)</p> <p>15) 日本社会文学会秋季大会事務局長 (2009年4月～)</p> <p>16) 地域文化研究会 AKITA 事務局長 (2009年4月～)</p> |

| | |
|--------------------|---|
| | <p>17) 秋田県芸術選奨選考委員 (2009年 5月～)</p> <p>18) 『社会文学』第31号編集・査読委員 (2009年 5月～)</p> <p>19) 日本社会文学会監事 (2009年 6月～)</p> <p>20) 日本比較文学会東北支部幹事 (2009年 6月～)</p> <p>21) 日本近代文学会東北支部事務局長 (2009年 7月～)</p> <p>22) 『東北近代文学事典』編集委員 (2009年10月～)</p> |
| <p>IV 講演・公開講座等</p> | <p>1) 「出版に生涯を捧ぐ—新潮社を創業した佐藤義亮—」(平成20年度大館北秋田教頭会研修大会講演会、2009年 1月27日、於：大館市プラザ杉の子)</p> <p>2) 「神楽坂の夢—新潮社を起こした秋田県人・佐藤義亮の生涯—」(秋田稲門会新年会講話、2009年 2月17日、於：シャインプラザ平安閣秋田)</p> <p>3) 「米と秋田の文学—伊藤永之介の作品を巡って—」(平成20年度美の国カレッジ特別公開講座、2009年 2月21日、於：能代市中央公民館)</p> <p>4) 「秋田の文学研究を巡る近況」(秋田東ロータリークラブ、2009年 5月18日、於：秋田ビューホテル)</p> <p>5) 「文学史の中の新潮社」(日本文学同好会、2009年 5月24日、於：あきた文学資料館)</p> <p>6) 「佐藤義亮の人生観」(日本文学同好会、2009年 5月31日、於：あきた文学資料館)</p> <p>7) 「日本近現代文学研究の現場」(秋田県立本荘高等学校平成21年度「大学の先生を囲む会—学問研究の第一歩—」、2009年 7月 8日、於：秋田県立本荘高等学校)</p> <p>8) 「出版人佐藤義亮の勝因」(秋田ロータリークラブ、2009年 7月15日、於：シャインプラザ平安閣秋田)</p> <p>9) 「対談／岡里首子さん(永之介長女)に聞く」(地域文化研究会AKITA 5周年記念事業／没後50年伊藤永之介を偲ぶ、2009年 7月29日、於：あきた文学資料館)</p> <p>10) 「秋田の近代作家に関する研究動向」(秋田市立小中学校事務研究会北支部事務研修会、2009年 8月21日、於：秋田県立大学秋田キャンパス)</p> <p>11) 「秋田なくして多喜二なし—「蟹工船」「党生活者」に潜む生地の情報—」(プロジェクト4Aシンポジウム「まちづくりと大学について考える」基調講演、2009年 9月 6日、於：カレッジプラザ)</p> <p>12) 「まちづくりと大学—秋田学・景観・観光」(プロジェクト4Aシンポジウム「まちづくりと大学について考える」パネルディスカッション／パネリスト、2009年 9月 6日、於：カレッジプラザ)</p> <p>13) 「伊藤永之介没後50年」(土崎景気会、2009年 9月16日、於：港の銀水)</p> <p>14) 「伊藤永之介と農村」(あきた文学資料館文学講座、2009年10月 2日、於：あきた文学資料館)</p> <p>15) 「山田順子と秋田」(本荘郷土資料館・本荘図書館合同企画／山田順子文芸講演会～順子の評価をめぐって～、2009年10月17日、於：本荘ボートプラザアクアパル)</p> <p>16) 「石坂洋次郎における〈ふるさと観〉—横手と弘前—」(平成21年度横手市立図書館主催「図書館教養講座」、2009年11月 3日、於：あさくら館)</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>17) 「山と秋田の文学—松田解子を中心に—」(平成21年度美の国カレッジ／あきた学専門講座・あきた文化学Ⅱ／山に見る秋田の歴史・民俗、2009年11月28日、於：秋田県生涯学習センター)</p> <p>18) 「伊藤永之介没後50年記念講演」(あきた県民芸術祭2009アトリオンフェスタ、2009年11月29日、於：アトリオン)</p> |
| <p>V その他の活動</p> | <p>* 助成研究</p> <p>1) 平成21年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「新資料による小牧近江研究」(課題番号20520167) 研究代表者</p> <p>2) 戦略的大学連携支援事業「プロジェクト「4A」—連携による知のベース構築と「秋田戦略学」の展開—」研究分担者</p> <p>3) 秋田県芸術文化振興基金補助金「伊藤永之介没後50年記念事業」事務局長</p> <p>4) 平成21年度秋田県立大学学長プロジェクト研究「佐藤義亮研究—日本近代文学発展への貢献に関する考察—」研究代表者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 「新資料による小牧近江研究」(平成20年度科学研究費補助金実績報告書、2009年5月15日)</p> <p>2) 「新資料による山田順子研究—竹久夢二との関わりをめぐって—」(「平成20年度秋田県立大学学長プロジェクト研究成果報告書」、pp.57～59、2009年9月30日)</p> <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <p>1) 解説「小牧近江資料展Ⅱ—小牧近江を取り巻く人びと—」(あきた文学資料館特別展示、2009年1月20日～4月19日)</p> <p>2) 書評「緻密で大胆、自在な世界」(『秋田魁新報』、2009年2月22日)</p> <p>3) 講演録「近代日本の文化と秋田県人の気概」(『秀麗秋田』第46集、pp.8～17、2009年3月)</p> <p>4) 講演録「秋田の文学研究を巡る近況」(「輪と和」、2009年5月)</p> <p>5) 「佐藤義亮の生涯と新潮社」(「AKITA ROTARY WEEKLY」、pp.2～3、2009年7月)</p> <p>6) 「没後50年を迎えた伊藤永之介／秋田市で開催の記念事業に寄せて」(『秋田魁新報』、2009年7月22日)</p> <p>7) 「「農村と文学」考える契機に／日本社会文学会秋田大会の開催に寄せて」(『秋田魁新報』、2009年9月21日)</p> <p>8) 「没後五十年 伊藤永之介を偲ぶ／対談 岡里苜子さん(永之介長女)に聞く」(『地域文化研究会AKITA 5周年記念号』、pp.4～16、2009年10月1日)</p> <p>9) 「「種蒔く人」小牧近江を語る」(『秋田風土文学』第十四号、pp.56～73、2009年11月30日)</p> <p>10) 選評「妄言多謝」(『あきたの文藝』第42集、pp.132～133、2009年12月28日)</p> |

* 記事・取材協力等

- 1) 「県史学界の成果と課題／08年を振り返って」(『秋田魁新報』、2009年1月21日)
- 2) 「8か国23人の「多喜二」論／昨年9月英国でのシンポ1冊に」(『読売新聞』、2009年3月13日)
- 3) 「伊藤永之介／独自の農民文学を開拓」(A B S秋田放送「NEWSリアルタイムあきた」、2009年7月2日)
- 4) 「伊藤永之介没後50年／著作解説し偲ぶ会／29日、文学資料館」(『秋田魁新報』、2009年7月27日)
- 5) 「農民文学作家・伊藤永之介没後50年／長女や孫、思い出語る／秋田市」(『秋田魁新報』、2009年7月30日)
- 6) 「県内8高等教育機関連携／まちづくり、大学テーマにシンポ／6日、秋田市中通で」(『秋田魁新報』、2009年9月1日)
- 7) 「「プロジェクト4A」初シンポ／まちづくり方策探る／大学関係者、市民ら参加」(『秋田魁新報』、2009年9月7日)
- 8) 「プロジェクト4A／成果生かし活性化へ／シンポジウムで取り組みを報告／地域、行政との連携も」(『秋田魁新報』、2009年9月10日)
- 9) 「作家・山田順子の評価をめぐる講演／あす由利本荘市」(『秋田魁新報』、2009年10月16日)
- 10) 「貧困問題描いた現在文学を分析／近代文学会支部／仙台で冬季シンポ」(『河北新報』、2009年12月13日)
- 11) 「松田解子自選集／研究者ら60人が10巻完結を祝う／都内で会合」(『秋田魁新報』、2009年12月23日)

* 被書評・引用・言及・参考等

- 1) 言及「世界に羽ばたく小林多喜二／多くの人たちの心を魅了する文学世界」(『秋田魁新報』、2009年3月4日)
- 2) 引用・言及「秋聲・順子・夢二—新資料・山田順子のスクラップブックをめぐる」(財団法人金沢文化振興財団『研究紀要』第6号、p.23、43、2009年3月31日)
- 3) 引用「女性たちは「蟹工船」をいかに読み、なにを書いたか」(『社会文学』第30号、P.55、59、2009年6月15日)
- 4) 「参考文献」(「多喜二・百合子研究会会報」第189号、pp.10~11、2009年7月31日)
- 5) 引用・言及「伊藤永之介と鶴田知也—戦後改革期を中心に—」(『地域文化研究会 A K I T A 五周年記念号』、p.22、33、2009年10月1日)
- 6) 注記(「企画展——本荘の文人たち I ——／作家・山田順子の生涯とその作品世界」、p.6、2009年10月)
- 7) 引用・言及「山美しく人貧し—没後五〇年伊藤永之介を偲ぶ—」(『科学的社会主義』第139号、p.70、73、2009年11月1日)
- 8) オックスフォード小林多喜二記念シンポジウム論文集編集委員会・編『多喜二の視点から見た〈身体〉〈地域〉〈教育〉—2008年オックスフォード小林多喜二記念シンポジ

総合科学教育研究センター個人業績

| | |
|--|---|
| | <p>ウム論文集一』(『日本近代文学』第81集、p.436、2009年11月15日)</p> <p>9) 言及「郷土の女性作家再評価の第一歩／「作家・山田順子の生涯とその作品世界」展に寄せて」(『秋田魁新報』、2009年11月30日)</p> |
|--|---|

小松田儀貞 准教授

| | |
|--------------|--|
| I 著書・学術論文等 | <p>* 学術論文</p> <p>1) 小松田儀貞「ブルデュー社会学における〈政治〉——国家・象徴的暴力・民主政治——」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』第10号(秋田県立大学総合科学教育研究センター、1～7ページ、2009年3月31日)(单著)</p> |
| II 学会報告等 | <p>1) 小松田儀貞「知の(再)自然主義化と〈生政治〉の行方」社会理論研究会研究例会、2009年9月5日(於:東洋大学)</p> |
| III 社会活動・受賞等 | <p>1) あきた女性チャレンジ支援推進協議会会長(2008年5月～)</p> <p>2) エフエム秋田番組審議会委員(2008年4月～)</p> |
| V その他の活動 | <p>* 助成研究</p> <p>1) 平成20～22年度科学研究費補助金(基盤研究(C))(一般)「巨大干拓事業による潟湖コモンの崩壊と再生に関する環境社会学的研究」(課題番号20530467)研究分担者(研究代表者・谷口吉光秋田県立大学教授)</p> |

小池孝範 准教授

| | |
|---------------------|---|
| <p>I 著書・学術論文等</p> | <p>* 学術論文</p> <p>1) 小池孝範「道元の成仏思想としての修行観——在家／出家、男性／女性をめぐって——」『プロテウス』第11号（仙台ゲーテ自然学研究会、85～93頁、2009年3月31日）</p> <p>2) 小池孝範「『信仰心』と『宗教心』——教化者と被教化者に求められるもの——」『宗学研究紀要』第22号（曹洞宗総合研究センター、45～58頁、2009年3月31日）</p> |
| <p>II 学会報告等</p> | <p>1) 小池孝範「いのちの教育と宗教的情操」（日本仏教教育学会第18回学術大会、2009年11月14日、於：東北大学）</p> |
| <p>III 社会活動・受賞等</p> | <p>1) 日本仏教教育学会第18回学術大会実行副委員長（2009年11月）</p> |
| <p>IV 講演・公開講座等</p> | <p>1) 秋田県立湯沢高等学校高大連携授業「アドバンスト講義」講師、2009年9月16日（於：秋田県立湯沢高等学校）</p> |
| <p>V その他の活動</p> | <p>* 寄稿</p> <p>1) 小池孝範「特別寄稿『つるおか保育ガイドブック』発刊に寄せて」『つるおか保育ガイドブック発刊によせて』鶴岡市保育研修協議会、2009年12月</p> |

内山応信 准教授

| | |
|-------------------|--|
| <p>I 著書・学術論文等</p> | <p>* 著書</p> <p>1) (監修) 出村慎一、(編著) 佐藤進、山次俊介、長澤吉則、(著者) 佐藤進、山次俊介、長澤吉則、中田征克、北林保、<u>内山応信</u>、松田繁樹、山田孝禎「健康・スポーツ科学のための Excel による統計解析入門」(榊杏林書院)、2009年6月1日</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 青木宏樹、出村慎一、北林保、藤谷かおる、岩田英樹、<u>内山応信</u>、宗倉啓、山下秋二 (2009、9) 生徒が判断する体育授業の構成要因の検討。一校種間差及び性差の観点から一。日本教科教育学会誌、32(2)、11-20。(査読有)</p> <p>2) Demura S, <u>Uchiyama M.</u> (2009, 9) Influence of cell phone email use on characteristics of gait. European Journal of Sport Science, 9 (5), 303-309. (査読有)</p> <p>3) Demura S, <u>Uchiyama M.</u> (2009, 6) Influence of anaerobic and aerobic exercises on the center of pressure during an upright posture. Journal of Exercise Science and Fitness, 7 (1), 39-47. (査読有)</p> <p>4) <u>Uchiyama M,</u> Demura S. (2009, 6) The role of eye movement in upright postural control. Sport Sciences for Health. 5 (1), 21-27. (査読有)</p> <p>5) Noguchi T, Demura S, Nagasawa Y, <u>Uchiyama M.</u> (2009, 6) Influence of measurement order by dominant and nondominant hands on performance of a Pursuit-Rotor task. Perceptual and Motor Skills, 108 (3), 905-914. (査読有)</p> <p>6) 山本裕太、出村慎一、大森誠、辛紹熙、出村友寛、<u>内山応信</u> (2009、6) 携帯メール操作が階段昇降時の歩容に及ぼす影響。教育医学、54(4)、253-258。(査読有)</p> <p>7) <u>内山応信</u>、出村慎一 (2009、4) 高齢者の易転倒性を評価するための障害物 Timed "Up & Go" テストの提案。体育測定評価研究、8、27-32。(査読有)</p> <p>8) 青木宏樹、出村慎一、中田征克、北林保、<u>内山応信</u>、山田孝禎、山本裕太、出村友寛 (2009、4) 荷物保持および履物が歩行中の障害物またぎ越し動作に及ぼす影響。体育測定評価研究、8、9-15。(査読有)</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、中田征克、北林保、松田繁樹 (2009) 従来の重心動揺評価変数と Stabilogram Diffusion 分析による変数との関係。第64回日本体力医学会大会 予稿集、336.</p> <p>2) 出村慎一、山次俊介、北林保、<u>内山応信</u>、山田孝禎 (2009) 腰部加速度感知による転倒予測の可能性。第64回日本体力医学会大会 予稿集、239.</p> <p>3) 東章弘、出村慎一、<u>内山応信</u>、山田孝禎 (2009) 転移速度における歩行および歩行後の身長の変化。第64回日本体力医学会大会 予稿集、286.</p> <p>4) 出村友寛、出村慎一、<u>内山応信</u>、山田孝禎、辛紹熙 (2009) 視覚制限が平地および階段昇降時の歩容に及ぼす影響。第64回日本体力医学会大会 予稿集、287.</p> <p>5) <u>Uchiyama M,</u> Demura S, Shin S, Demura T, Yoshimura Y. (2009, 8) Attention</p> |
|-------------------|--|

| | |
|-----------------|--|
| | <p>and gait control. The Journal of Education and Health Science (第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会抄録集), 55 (1), 96.</p> <p>6) Yamada T, Demura S, Sato S, Kitabayashi T, <u>Uchiyama M.</u> (2009, 8) The maximal double step length test can evaluate adequately the decrease of physical function with age than the maximal single step length test. The Journal of Education and Health Science (第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会抄録集), 55 (1), 56.</p> <p>7) Shin S, Demura S, <u>Uchiyama M,</u> Yamada T, Matsuda S. (2009, 8) Different step-over movement strategies for various disturbance stimulations (第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会抄録集), 55 (1), 59.</p> |
| <p>II 学会報告等</p> | <p>* 学会報告</p> <p>1) <u>内山応信</u>、出村慎一、中田征克、北林保、松田繁樹 (2009) 従来の重心動揺評価変数と Stabilogram Diffusion 分析による変数との関係. 第64回日本体力医学会大会 (於: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター) 2009年9月18~20日</p> <p>2) 出村慎一、山次俊介、北林保、<u>内山応信</u>、山田孝禎 (2009) 腰部加速度感知による転倒予測の可能性. 第64回日本体力医学会大会 (於: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター) 2009年9月18~20日</p> <p>3) 東章弘、出村慎一、<u>内山応信</u>、山田孝禎 (2009) 転移速度における歩行および歩行後の身長の変化. 第64回日本体力医学会大会 (於: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター) 2009年9月18~20日</p> <p>4) 出村友寛、出村慎一、<u>内山応信</u>、山田孝禎、辛紹熙 (2009) 視覚制限が平地および階段昇降時の歩容に及ぼす影響. 第64回日本体力医学会大会 (於: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター) 2009年9月18~20日</p> <p>5) <u>Uchiyama M,</u> Demura S, Shin S, Demura T, Yoshimura Y. (2009, 8) Attention and gait control. 第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会 (於: 大韓民国、慶熙) 2009年8月20~21日</p> <p>6) Yamada T, Demura S, Sato S, Kitabayashi T, <u>Uchiyama M.</u> (2009, 8) The maximal double step length test can evaluate adequately the decrease of physical function with age than the maximal single step length test. 第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会 (於: 大韓民国、慶熙) 2009年8月20~21日</p> <p>7) Shin S, Demura S, <u>Uchiyama M,</u> Yamada T, Matsuda S. (2009, 8) Different step-over movement strategies for various disturbance stimulations. 第13回 日・韓健康教育シンポジウム兼第57回日本教育医学会大会 (於: 大韓民国、慶熙) 2009年8月20~21日</p> <p>8) <u>内山応信</u>、出村慎一、北林保、山田孝禎、辛紹熙、池本幸雄 (2009, 8) 障害物を含む Timed "Up & Go" test の関連要因—様々な体力レベルの被験者による検討—. 日本体育学会第60回記念大会 (於: 広島大学 東広島キャンパス) 2009年8月26~28日</p> |

総合科学教育研究センター個人業績

| | |
|--------------------------|---|
| | <p>9) 長澤吉則、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>、辛紹熙 (2009、8) 正弦波形と棒グラフ表示法による筋力発揮調整能の対応関係. 日本体育学会第60回記念大会 (於: 広島大学 東広島キャンパス) 2009年8月26~28日</p> <p>10) 山田孝禎、出村慎一、長澤吉則、中田征克、<u>内山応信</u> (2009、8) 椅子立ち上がり動作時における体重心移動速度の性差および年代差. 日本体育学会第60回記念大会 (於: 広島大学 東広島キャンパス) 2009年8月26~28日</p> <p>11) 北林保、出村慎一、長澤吉則、<u>内山応信</u>、松田繁樹、池本幸雄 (2009、8) 簡便な足圧中心動揺の評価方法の提案. 日本体育学会第60回記念大会 (於: 広島大学 東広島キャンパス) 2009年8月26~28日</p> |
| <p>III 社会活動 ・受賞等</p> | <p>* 各種公的団体、審議会への参加・所属等</p> <p>1) 日本教育医学会評議員 (2009年4月~)</p> <p>2) 日本体育測定評価学会評議員 (2009年4月~)</p> <p>3) 日本体育学会第60回記念大会 (広島大学) 測定評価学会企画「統計相談」統計相談員 (2009年8月)</p> <p>4) 秋田県スポーツ科学センター 平成21年度アスリート総合診断アドバイザー (2009年4月~)</p> |
| <p>IV その他の活動</p> | <p>* 助成研究</p> <p>1) 出村慎一. 日本学術振興会、科学研究費補助金、基盤研究 (A)、「生活自立高齢者のための包括的な転倒予防システムの構築」、2009年4月~2013年3月、(共同研究: 連携研究者).</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 出村慎一、山次俊介、北林保、<u>内山応信</u>、山田孝禎: テンポに合わせたステップによる高齢者転倒予防エクササイズの開発. ミズノスポーツ振興会助成金報告書</p> |

高階 悟 教授

| | |
|---------------------|---|
| I 著書・学術論文等 | <p>* 著書</p> <p>1) 北山克彦編『アメリカ文学：名作と主人公』「完訳マルコム X 自伝」「スローターハウス 5」(自由国民社、2009年9月20日)(共著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 高階 悟「テクノロジーの進歩の功罪：『フランケンシュタイン』と『プレイヤー・ピアノ』」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター、第10号、9～17ページ、2009年3月31日)(単著)</p> |
| II 学会報告等 | <p>1) 「SF小説と科学者の社会的責任」(日本アメリカ文学会東北支部例会、2009年9月26日、於：仙台白百合女子大学)</p> <p>2) 「SFとフランケンシュタイン・コンプレックス」(日本アメリカ文学会第48回全国大会、2009年10月10日、於：秋田大学)</p> |
| III 社会活動・受賞等 | <p>1) 東北英語教育学会 理事 (2006年4月～)</p> <p>2) 東北英語教育学会 研究紀要編集委員 (2008年4月～)</p> <p>3) 秋田県 TOEIC 推進協議会委員 (2003年4月～)</p> <p>4) 法廷通訳人登録 秋田地方裁判所 (2005年4月～)</p> |
| IV 講演・公開講座等 | <p>1) 農業系高校・秋田県立大学英語高大連携授業：「コンピュータを使っの英語の授業」(2009年7月23日～27日、於：秋田キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田魁新報(2009年7月24日)で「英文書き取り挑戦：県立大のパソコン活用」として農業系高校生の高大連携授業の様子が紹介された。 ・NHKテレビの「Nこまち」(2009年7月23日)で農業系高校生の高大連携授業の様子が紹介された。 ・秋田朝日テレビの「Jあきた」(2009年7月23日)で農業系高校生の高大連携授業の様子が紹介された。 ・秋田テレビの「AKT スーパーニュース」(2009年7月23日)で農業系高校生の高大連携授業の様子が紹介された。 |
| V その他の活動 | <p>1) 論文評：「『ピラヴィド』における水の意味とその機能」について、『東北アメリカ文学研究』32号、2009年3月20日、104～106ページ</p> <p>2) 薫風満天フィールド交流塾活動に「尺八演奏講座」を企画。(2009年5月2日～6月20日まで4回実施、於：秋田キャンパス)</p> <p>3) 薫風満天フィールド交流塾活動に「坐禅と写経講座」を企画。(2009年6月26日：坐禅講習会、於：秋田キャンパス、7月5日：長沼禅苑にて坐禅と写経を実施)</p> |

高橋 守 教授

| | |
|-------------|---|
| I 著書・学術論文 | <p>* 学術論文</p> <p>1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: An Examination of Two Model Classes." <i>Akita Prefectural University RECCS Bulletin</i>. 10, (2009), 19-26. (共著)</p> <p>2) Takahashi, M., & Shucart, S. "Content-based instruction: A tale with two flavors." In A. Stoke (Ed.), <i>JALT2008 Conference Proceedings</i>. 429-438. August, 2009. (共著)</p> |
| II 学会報告等 | <p>1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart. "Teaching vocabulary in the CBI classroom." (全国語学教育学会第35回年次大会、2009年11月22日、於：(静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ) (共同)</p> |
| IV 講演、公開講座等 | <p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2009年6月2日、7月7日、7月14日、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> |

檜山 晋 教授

| | |
|-------------|--|
| I 著書・学術論文 | <p>* 学術論文</p> <p>1) Hiyama, Susumu. 'Clause-Final Elements in "The Vercelli Homilies".' (秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第10号、pp. 27-42、2009年3月31日) (単著)</p> |
| IV 講演、公開講座等 | <p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2009年5月12日、5月19日、5月26日実施、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> <p>2) 由利工業高等学校キャンパス訪問 (模擬講義) (2009年8月7日実施、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> |

Stephen Shucart 准教授

| | |
|-----------------------|---|
| <p>I 著書・学術論文</p> | <p>* 学術論文</p> <p>1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: An Examination of Two Model Classes." <i>Akita Prefectural University RECCS Bulletin</i>. 10, (2009), 19-26. (共著)</p> <p>2) Takahashi, M., & Shucart, S. "Content-based instruction: A tale with two flavors." In A. Stoke (Ed.), <i>JALT2008 Conference Proceedings</i>. 429-438. August, 2009. (共著)</p> |
| <p>II 学会報告等</p> | <p>1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart. "Teaching vocabulary in the CBI classroom." (全国語学教育学会第35回年次大会、2009年11月22日、於：(静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ) (共同)</p> |
| <p>III 社会活動および受賞等</p> | <p>1) Publicity Chair: JALT Akita Chapter</p> |
| <p>IV 講演、公開講座等</p> | <p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2009年10月6日、10月13日、10月20日、11月10日、11月17日、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> |

草薙優加 准教授

| | |
|---------------------|---|
| <p>I 著書・学術論文等</p> | <p>* 学術論文</p> <p>1) Kusanagi, Y. "A Case Study: Japanese University Students' Reflective Comments on Their Extensive Reading Experiences." <i>Akita Prefectural University RECCS Bulletin</i>, 10, 43-54. 2009年3月 (単著)</p> <p>2) Kusanagi, Y. "Montage: Activities to Increase EFL Learner Autonomy and Understanding Others." <i>Proceedings of the Independent Learning Association 2007 Japan Conference (Online): Exploring Theory, Enhancing Practice: Autonomy Across the Disciplines</i>, 1-15. Kanda University of International Studies, Chiba, Japan. 2009年10月 (単著)</p> |
| <p>II 学会報告等</p> | <p>* 研究発表</p> <p>1) Kusanagi, Y. "Seeding Learner Autonomy by Montage Activities: A Report from a University English Conversation Course." 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部大会 (於: 宮城県仙台市 エルソーラ仙台) 2009年7月4日 (単独)</p> <p>* ワークショップ</p> <p>1) Kusanagi, Y. "<i>Gundoku</i>, Creative Reading-Aloud in Performance." JALT 2009 (The Japan Association for Language Teaching) (於: 静岡県静岡市 グランシップ静岡) 2009年11月22日 (単独)</p> <p>2) Kusanagi, Y. "<i>Gundoku</i> (Reading Aloud in a Group): Performing Language with Voice." IAPL 2009 (International Association of Performing Language) (於: University of Victoria, British Columbia, Canada) 2009年3月8日 (学会招待) (単独)</p> |
| <p>III 社会活動・受賞等</p> | <p>1) Temple University, Japan Campus, Working Papers in Applied Linguistics 編集委員 (2005年1月~2007年3月)</p> <p>2) 大学英語教育学会 (JACET) 全国運営委員会 研究会担当委員会 委員 (2007年4月~)</p> <p>3) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 研究企画委員 (2007年4月~)</p> <p>4) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 支部紀要委員 (2007年4月~)</p> <p>5) 国際表現言語学会 (International Association of Performing Language: IAPL) 理事 (2007年11月~)</p> <p>6) 大学英語教育学会 (JACET) 代議員 (2008年4月~7月)</p> <p>7) 大学英語教育学会 (JACET) 社員 (社団法人化により代議員から社員に名称変更) (2008年8月~)</p> <p>8) 日本群読教育の会 常任委員 (2008年12月~)</p> <p>9) 東北・北海道地区大学一般教育研究会 委員 (2009年9月~)</p> <p>10) 大学英語教育学会 大学英語教育学会賞選考委員会 副委員長 (2009年9月~)</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>IV 公開講座等</p> | <p>* 公開講座</p> <p>1) 大学コンソーシアムあきた中大連携講座「ニュースを読み解こう！～メディア・リテラシー」(於：秋田市 カレッジプラザ) 2009年7月1日</p> |
| <p>V その他の活動</p> | <p>* 記事</p> <p>1) "Activating English Learners' Confidence and Participation through Reading." 「JACET 東北支部通信」35号4頁 2009年3月(研究発表報告記)(単著)</p> <p>2) 「メディアとわたしー写真は語る・写真を読み解く」『こととい』秋田・市民とメディア研究会会報39号2頁 2009年9月(書評)(単著)</p> <p>3) "Conference Report: IAPL 2009" <i>The Language Teacher</i>, 33 (12), 13-15. 2009年12月(学会報告記)(共著)</p> <p>* 取材協力</p> <p>1) 「ニュースを読み解こう/違う見方がある/ゲームを通じ学ぶ」『朝日新聞』 2009年8月13日</p> <p>* 学会大会運営等</p> <p>1) IAPL 2009: Performing Language: International Conference on Drama and Theatre in Second Language Education 開催実行委員(於：University of Victoria, British Columbia, Canada) 2009年3月6～7日</p> <p>2) 国際表現言語学会(IAPL)主催『語学・コミュニケーション教育における演劇の持つ有用性ー講演及びワークショップ』企画運営(於：大阪府寝屋川市 摂南大学) 2009年12月6日</p> |

松村聡子 准教授

| | |
|---------------------|---|
| <p>I 著書・学術論文等</p> | <p>* 学術論文 1) 松村聡子 "Is Trilby a Victim or a Victor?" 『秋田県立大学総合科学研究彙報』第10号 (秋田県立大学総合科学教育研究センター、pp.55-62、2009年3月) (単著)</p> |
| <p>III 社会活動・受賞等</p> | <p>1) 秋田県生活環境文化部県民文化政策課主催『あきたの文芸』小説・評論部門選考委員 (2009年4月～)</p> |
| <p>V その他の活動</p> | <p>* 助成研究 1) 平成21年度秋田県立大学学長プロジェクト研究 (ジェイン・オースティンの作品研究) 研究代表者</p> <p>* 書評 1) 松村聡子「廣野由美子著『視線は人を殺すか——小説論11講——』(ミネルヴァ書房、2008年、206 pp.)」『ジェイン・オースティン研究』第3号 (日本オースティン協会、pp.106-08、2009年10月)</p> <p>* 報告書等 1) 松村聡子「ヘレン・ハンティンドンとオリーブ・ロザセイ——ヒロインとしての女性画家」『英文学研究 支部統合号』第2巻 (日本英文学会、pp.162-64、2009年12月)</p> <p>* その他 1) 選評「初めての選を終えて」(『あきたの文芸』第42集、pp.134-36、2009年12月)</p> |